

平成23年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	ワッセナー・アレンジメント関係経費			担当部局庁	軍縮不拡散・科学部			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成3年度			担当課室	不拡散・科学原子力課			課長 實生 泰介	
会計区分	一般会計			施策名	Ⅱ-2 軍備管理・軍縮・不拡散への取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1号イ及びロ、2、3号			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	冷戦後の国際社会において、地域の不安定につながる通常兵器及び機微な関連汎用品・技術の過度の移転と蓄積を防止することが大きな課題となっている中、我が国としても、通常兵器の輸出管理レジームであるワッセナー・アレンジメント(WA)での活動を通じて、右問題への対処に積極的に貢献することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	WAの総会や一般作業部会等、WAにおける主要な会合に積極的に参加し、我が国として通常兵器及び関連汎用品・技術の拡散防止に寄与するとともに、WAの方針に我が国の考え方を出来るだけ反映すべく交渉する。またWAに関する全ての情報・文書がWAIS(ワッセナー・インフォメーション・システム)を通じてのみ参加各国に配信されているところ、右システムを使用し、出来る限り情報収集に努める(なお、WAの関連文書は全てWAISのみを通じて配信されており、WAでの活動上、WAISは必要不可欠)。								
実施方法	■直接実施 ■業務委託等 □補助 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	5	6	6	6	6		
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	5	6	6	6	6		
	執行額		4	3	6				
	執行率(%)		86.0%	56.3%	92.3%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	WA総会では、通常兵器及び関連汎用品・技術の不拡散について約20の議題が議論されるところ、可能な限り多くの議題においてコンセンサスを達成する又は議論を前進させる。			成果実績	議題数	15(20)	15(20)	16(20)	17(20)
				達成度	%	75	75	80	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	ワッセナー・アレンジメント総会、一般作業部会、専門家会合等に参加する。			活動実績 (当初見込み)	回数	出張を7回実施	出張を6回実施	出張を8回実施	— ()
単位当たりコスト	約69万円(551万2千円／8回)			算出根拠	平成22年度の執行額(551万2千円)を出張回数(8回)で割ったもの。				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	職員旅費(外国旅費)	5,760	5,667						
	データ通信料	160	160						
	機器借料	282	282						
	保守関係経費	48	48						
計	6,250	6,157							

事業所管部局による点検			
	評 価	項 目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	企画官及び担当官がWAの総会、一般作業部会等主要な会合に出席し積極的に議論に参加することにより、WA予算の一層の削減の達成、WAのアウトリーチに関する議論における我が国のアジア・アウトリーチの経験・知見の共有、WAリスト見直し作業等への参画等、米国に次ぐWAの拠出国としての財政的負担に見合う実質的な貢献を行った。また、WAISを通じ、日々の情報収集・情報提供を行った。ワッセナー・インフォメーションシステムについては、各契約先の仕様書、請求書等により支出先、使途につき完全に把握しており、経費は必要最低限に抑えた。また、出張にかかる経費も同様に必要最小限とするようつとめた。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		単価見直し等による減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(単価見直し等による減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

外務省
5百万円

国際会議参加出張旅費



A.出張者(8名)
出張者A:1百万円
出張者B:0.6百万円
出張者C:0.8百万円
出張者D:0.4百万円
出張者E:0.6百万円
出張者F:0.3百万円
出張者G:0.8百万円
出張者H:0.3百万円

外務省
0.3百万円



【競争性のある随意契約】

B.(株)富士通
ビジネスシステム
0.1百万円

コンピューターシス
テム借料



【競争性のない随意契約】

C.東日本電信電話(株)
コンシューマ事業推進本
部
0.1百万円

インターネット接続
料



【競争性のない随意契

D.(株)NTT
コミュニケーションズ
0.1百万円

プロバイダー使用料

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	ワッセナー・アレンジメント関連会合出席	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	国際会議参加	1		
2	個人B	国際会議参加	0.6		
3	個人C	国際会議参加	0.8		
4	個人D	国際会議参加	0.4		
5	個人E	国際会議参加	0.6		
6	個人F	国際会議参加	0.3		
7	個人G	国際会議参加	0.8		
8	個人H	国際会議参加	0.3		
9					
10					

支出先上位10者リスト

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)富士通ビジネスシステム	コンピューターシステム借料	0.1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東日本電信電話(株)コ ンシューマ事業推進本部	インターネット接続料	0.1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト
D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)NTTコミュニケーションズ	プロバイダー使用料	0.1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					